

平成31年度 主要事業

政策の柱である「五つの行動」に基づく主要事業を紹介します。

◆は新規・拡充事業

① 超高齢化社会の克服

地域活動や就業機会の創出などシニア世代の活躍拡大、健康づくりを目的とした健診事業、医療・介護費用の低減に取り組み、健康寿命の伸長をめざします。

高齢者等元気活躍推進事業



シニア世代が能力や経験を活かして社会を支える側として活躍する「生涯活躍社会」の実現をめざしています。人手不足で悩む施設での活動をポイント化し、市内で使える商品券等と交換できる「おもいやりポイント制度」を試行実施します。

◆にぎわいづくり事業

これまでの4つの市民まつりを見直し、観光事業者、商工団体、NPO法人等が主体となって新たに実施する「にぎわいづくり」事業に対し補助金を交付します。

【継続事業】新規就農者支援事業、ドローン運行技術開発事業、ほ場整備事業、漁場改良造成事業、サイクリスト支援事業、コミュニティバスの運行等

④ 安心・安全のまちづくり

災害対策（地震・津波・豪雨や高

地方消費税の増収分の充当事業

平成31年度の地方消費税交付金は8億1,000万円（2.9%増）を見込みました。地方消費税交付金のうち3億3,360万円は、平成26年度の税率引き上げ（5%から8%へ）による増収分として、使途の明確化と「社会保障施策に必要な経費」の財源とすることとされ、平成31年度は以下の事業に充てています。

【社会福祉関係】	
障害者福祉費	3,860万円
福祉医療費	1,330万円
保育所費	5,060万円
生活保護・扶助費	1,760万円
【社会保険関係】	
国民健康保険事業	1,530万円
福祉医療費	9,410万円
介護保険運営事業	8,140万円
【保健衛生関係】	
予防接種費	1,490万円
健康づくり推進事業費	780万円
合計	3億3,360万円

基金(貯金)残高の見込み

	31年度末	市民1人当たり
一般会計	101億9,667万円	21万5,200円
特別会計	12億9,717万円	2万7,400円
企業会計	0万円	0円
合計	114億9,384万円	24万2,600円

市債(借金)残高の見込み

	31年度末	市民1人当たり
一般会計	326億5,046万円	68万9,200円
特別会計	20億3,421万円	4万2,900円
企業会計	264億1,131万円	55万7,500円
合計	610億9,598万円	128万9,600円

※市民1人当たりの額は、平成31年2月末住民基本台帳人口47,373人で算出

主な普通建設事業

(建設事業に必要なとされる投資的な経費のみを計上)

事業名	予算額
火葬場建設事業	6億7,646万円
下水放流施設建設事業	5億3,446万円
治水総合対策事業	3億8,350万円
道路新設改良事業	3億5,200万円
市保育所改築事業	3億4,842万円
ほ場整備事業	2億6,049万円
道路橋梁等長寿命化事業	1億1,450万円
防災公園整備事業	1億1,180万円
大鳴門橋記念館駐車場整備事業	9,680万円
灘漁港整備改修事業	7,000万円

潮等の水害)、公共インフラの老朽化対策など市内の安心・安全のための取り組みを行います。

治水総合対策事業
三原川流域等で発生する浸水被害を防止軽減するため、排水ポンプの新設等を行います。

◆住宅確保要配慮者専用住宅補助事業
低所得者、高齢者等が安心して暮らせる住まいを確保するため、民間賃貸住宅のオーナーに対して改修工事や家賃低廉化のための補助金を交付します。

防災ジュニアリーダー養成事業
児童生徒が自らの命を守る力を身につける従来の安全教育に加え、防災教育授業や学習会、東北の被災地へ生徒の派遣を行います。

◆淡路圏域生活支援体制強化事業

障がい者の生活を圏域全体で支えるため、島内3市共同で相談支援の中核を担う「地域生活支援拠点」を設置します。

◆風しん予防接種事業

妊娠を希望する女性やその家族等の予防接種費用を補助します。また、抗体保有率の低い年代の男性に対する抗体検査や予防接種を行います。

【継続事業】町ぐるみ健診事業、定期予防接種事業、小児救急診療事業、福祉医療費の助成、高齢者の生きがい対策事業等

② 子育て環境の向上と教育の充実

若者が南あわじ市で子育てをしたいと思える保育・教育環境を整備します。

◆子どもの遊び場づくり事業

小学校の校庭、ゆめらんセンターの園庭を土日祝日に開放します。小学校の遊具整備を計画的に進めるほか、雨天時の遊び場づくりとして商



業施設内にキッズスペースを整備します。

◆アフタースクール事業

すべての子どもが参加できる放課後の居場所をつくり、遊びの中に体験・学習・スポーツなどのプログラムを取り入れ、子どもの積極性、自立性などを地域の人と一緒に育みます。

◆スクールチャレンジ事業

新教育課程の導入、学力向上、特別支援教育への対応、いじめ・不登校問題など、様々な課題に対し、各小中学校の主体的な問題解決や特色ある学校づくりを支援します。

◆ICT環境整備事業

小学校でのプログラミング教育に対応するための環境整備のほか、沼島小学校でのタブレットドリルの本格導入や、学校教材配信システム等の更新を行います。

◆継続事業】市保育所改築事業、保育士確保対策事業、3歳児以上保育料無料化、中学生までの医療費無料化、妊婦健康診査費の助成、マイホーム取得補助、松帆銅鑼保存活用事業等

③ 地域資源を活かした地元産業の活性化

南あわじ市の地域資源の魅力発信や地域資源を生み出す生産基盤への投資など地元産業を強化・支援する取り組みを行っています。

【継続事業】災害用避難経路の整備、自主防災組織等の育成、道路橋梁等長寿命化事業、交通安全施設の充実、火葬場建設事業等

⑤ 対話と行動の行政

「地域主体のまちづくり」を推進するための取り組みと市役所の業務の効率化や組織の最適化を図る業務改革を行っています。

◆協働のまちづくり事業

21地区の地域づくり協議会が実施する事業に対し、財源支援や市民交流センターによる事務局支援を行うことで、住民主体の地域づくりの機運を高めていきます。また、地域ぐるみの高齢者等の移動支援事業に対

◆ふるさと南あわじ応援寄附金事業
寄附金事業を奨励し、特産品等を返礼品として贈答することにより地域経済の活性化に繋がります。魅力ある返礼品の掘り起こしやイベントの開催等を通じて寄附金の増加をめざします。

◆観光協会事務局体制強化



(一社) 淡路島観光協会内に観光戦略推進室を設置し、淡路県民局および島内3市がそれぞれ観光担当職員を派遣して官民一体の誘客事業を行います。

◆地域新電力事業

エネルギーの地産地消と地域経済好循環の確立をめざすため、地域新電力会社設立に向けた可能性調査を実施します。

◆担い手倍增経営体育成事業

親元農業経営体に対して経営分離による減収等を軽減するための補助

地域づくりチャレンジ事業への補助

地域が抱える課題解決に向けて具体的に取り組む事業に対して、行政がサポート役となり実現を後押しします。

【継続事業】技術支援業務、地域コミュニティ(自治会等)への支援、地域福祉拠点づくり、業務改革プロジェクト等

※写真付で事業概要をわかりやすく説明した「事業概要説明書」をホームページでご覧いただけます

